

輝け！八木っ子

◆人としての成長

にんげんにとって一番必要なものは、あなたの成長になくってはならないものは、「人」が「人間」になっていくためには、それは、『人間』なんだろう。あなたに起こるほとんど全ての事はあなた以外の「人間」からやってくる。その一つ一つがあなたを成長させます。そうでしょうか？ 悩み、喜び、怒り、感動など、それらの感情のまわりには必ず「自分以外の人間」がいたはずで、好きで気が合う人も、イヤだと腹を立てた人も、あるいは知らない人もあなたを成長させてきました。「ああ、一人っきになりたい！」って思ったことがありますか？ 私は何回かありました。しかし、あなたがもし『無人島』で生きていれば間違いなく「成長する」ことも「人間らしい心」を持つことも、「希望」や「挫折」、「喜び」や「悲しみ」もなかったことでしょう。そう考えると、考えることができれば、あなたのまわりにいるどんな人でも自分にとって「大切な存在」なんだということに気づくでしょう。それどころか自分が生きていることが好きになれるでしょう。『あなたとあなたにつながるすべての人が好きになる』そして『無人島』でなくて良かったと思わないでしょうか。今、みなさんは「自分」のことをどう思っているでしょうか。自分が見えていますか。自分のここがいい、ここがだめ、ここが好き、ここが嫌いなど考えたことがあるでしょうか。



樹

―卒業する子へ母の歌える―

村野 四郎

おまえが入学したときは

まるで かよわい苗木のようだった

枝もなく そして葉もなかった

けれどもきょう おまえを見るとき

大きなおどろきに胸をうたれる

おまえの幹は しつかりとし

さしかわす知恵の枝々

風にそよぐ やわらかい感情の茂り

おお この美しい成長はだれがくれた

わたしは おまえといつしよに

このゆたかな恵みに 心から感謝しよう

おまえは まだまだ大きくなる

やがて 花をさかせるだろう

梢は空にひろがるだろう

そして 深々とした おまえの茂みは

数しれない小鳥たちの ねぐらになるだろう

おお そのとき

大きな おまえの樹のかげに

どんなに美しい夢を

わたしは結ぶだろう